

第312回くらしの植物苑観察会 令和7年5月23日（金）

季節を詠う植物と人々のくらし

島津 美子 当館情報資料研究系 准教授

日本では古来季節が意識され、それは気温などの気象の変化だけではなく、周囲の景色の変化やそれを作り出す植物の様相などから感じとられていた。そして、季節の代名詞となるような植物は和歌という形で現在まで伝わっている。今回の観察会では、日本の詩歌に見られる植物のうち、人々のくらしに関わってきた植物を中心に苑内散策を通して紹介する。

1. 日本の詩歌集

万葉集：7世紀前半から759年（天平宝字3年）までの約130年間の歌を収録

成立（推定）：759年～780年（宝亀11年）ごろ

＊編纂には大伴家持（718－785）が何らかの形で関わったとされる。

完本では鎌倉時代後期と推定される西本願寺本万葉集が最古。

◎歴博所蔵『紙本墨書万葉集巻第十一』

帖末の嘉暦3年3月16日の伝領記によれば、本書は仏樂寺祐弁より増覚ついで金藏寺慶俊に伝領されたもので、書写年代は鎌倉時代前期と目される。嘉暦伝承本として著名な萬葉集巻第十一の古写本。所収歌総数470首、本文は通巻1筆で、各歌とも萬葉仮名と平仮名の両仮名で併記するが、中には萬葉仮名のみのももの46首、平仮名みのももの1首ある。（歴博「館蔵資料データベース」より抜粋）

古今和歌集：平安時代前期の歌集。

醍醐天皇（885－930）の命令により編纂。905年（延喜5年）に奏上され、最初の勅撰和歌集として位置づけられる。全二十巻で、藤原定家による写本（定家本）では歌数は合計1111首。巻のタイトルに季節が付けられており、巻第一「春歌上」から始まる。

新古今和歌集：後鳥羽院（1180-1239）の勅命で編纂された勅撰和歌集。鎌倉時代初期成立。歌数1970首あまり。巻のタイトルは古今集に準ずる。

新続古今和歌集：室町幕府第6代将軍足利義教の執奏により、後花園天皇（1419-1471）の勅宣。永享5年（1433年）8月25日下命、翌11年（1439年）6月27日成立。歌数は2144首。最後の勅撰和歌集。

おくの細道：俳人松尾芭蕉（1644-1694）による江戸から奥州、北陸道を巡った紀行文。元禄15年（1702年）刊。

2. 季語

能因歌枕：能因法師著（三十六歌仙のひとり） 平安時代後期

月別に分類された150の季語

正月 梅がえ、紅梅、山橘、つくづくし、など

3月 桜の花、なしの花、桃の花、など 4月 葵草、卯花、サネカズラ、など

5月 やまもも、まこもぐさ、ぐみ、など

7月 露草、萩花、をみなへし、みそはぎ、など

9月 紅葉、はゞそ、かへで、菊、あけび、など

10月 ゆふだすき、など

12月 季子（クチナシ）など

（出典サイト：能因歌枕（廣本） <https://saigyosakura.ne.jp/noinutamakura.html>）

鎌倉時代：連歌の成立→季語が必須となる。
江戸時代：「俳諧」の成立、「くらし」を詠む、季語の増大
明治時代：「季語」の語の成立、無季俳句の容認

3. 紹介する植物が含まれる和歌・俳句

マツ：

明日を待つ賤が門松先立てて今日より春の色を見るかな 藤原保季（やすすえ）
幾霜（いくしも）に心ばせをの松飾り 芭蕉

クワ：

たらちねの 母がそのなる 桑すらに 願へば衣に 着るといふものを（万葉集、読み人しらず）
秋風に折れて悲しき桑の杖 芭蕉

ヤナギ：

浅緑染め掛けたりと見るまでに春の楊は萌えにけるかも（万葉集、読み人しらず）
庭掃きて出でばや寺に散る柳 芭蕉

ハギ：

秋風は涼しくなりぬ馬並めていざ野に行かな萩の花見に（万葉集、読み人しらず）
秋の野の萩の錦は女郎花（をみなへし）立ち交りつつ織れるなりけり（貫之集・四・四六四）

番外編

ゆふだすき＝木綿襷
ちはやぶる賀茂の社のゆふだすきひと日も君をかけぬ日はなし
（古今和歌集、読み人しらず）

参考 URL：

たのしい万葉集：<https://art-tags.net/manyo/volume.html>

新古今和歌集の植物：倉敷市

<https://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/plant/bungakusakuhin/sinkokinwakasyuu.htm>

七海 絵里香ほか「万葉集および平安期の勅撰和歌集にみる植物に対する行為」、日本緑化工学会誌
39 (1), 74-79, 2013. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjsrt/39/1/39_74/_pdf

.....

次回予告 第313回くらしの植物苑観察会 令和7年6月27日（金）

※平日開催となります。ご注意ください。

「年輪による木材の年代決定と気候復元」

佐野 雅規（当館研究部 特任准教授）

13：30～15：30

くらしの植物苑 東屋 申込不要